

DC型空気露点検測器 DewCup



空気露点検測器とは…

気体中に含まれる水分(水蒸気)は、いろいろな産業の分野において、弊害を引き起こしたり、大きな障害になっていることは既によく知られているところです。例えば空気 1m³ の中には、夏季で約 30g、冬季でも約 7g の水分が含まれています。その為、腐食・腐敗・氷結などの現象や有害な化学反応を起こす原因ともなります。このような場合は、必要に応じて脱水分又は脱湿度を行うことが要求されますが、含有水量がどの程度かを測定することがまず不可欠となります。気体中の含有水量をその気体の液化から求めるのが DC 型空気露点検測器です。シンプルな構造で操作方法も大変簡単です。

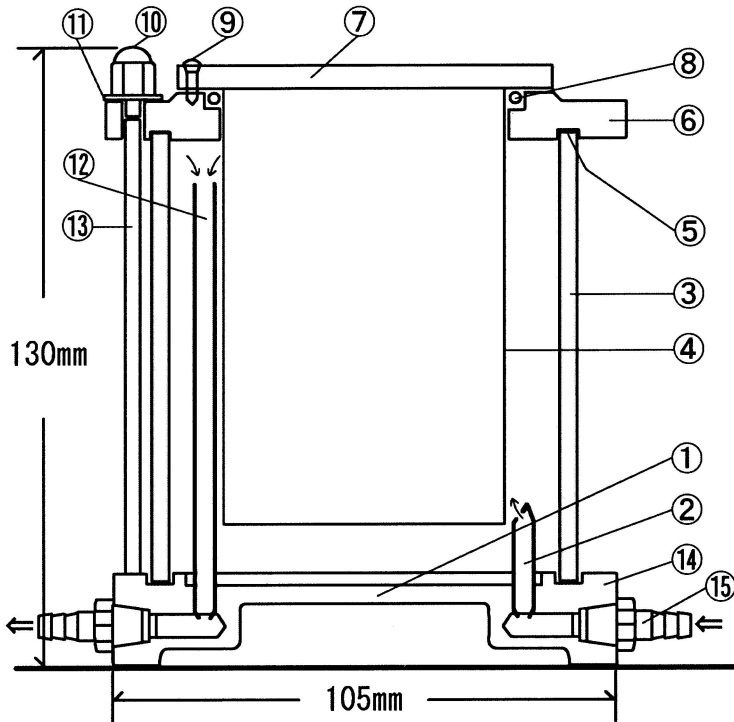
◆型式 DC-H (ホース口接続)、DC-S (スウェージロック接続)

◆特長 1. 操作方法がきわめて簡単。
2. 検測範囲が非常に広い。
3. お求め易い廉価タイプ。
4. 収納箱入り携帯に便利。

◆仕様 1. 使用圧力 : 0.1~0.3MPa
2. 使用流体 : 空気
3. 使用温度 : -70~+50℃
4. ホース口接続 : 8A (1/4")
5. スウェージロック接続 : 1/4" , 6mm

株式会社愛知洋行
〒177-0044 東京都練馬区上石神井 4-3-19
TEL(03)3929-0397 FAX(03)3929-0433

◆外形図



◆構成部品表

No.	名称	数量
15	ホースキャップ	2
14	パッキン	2
13	ステーボルト	3
12	導管	1
11	座金	3
10	ふくろナット	3
9	丸皿頭ビス	4
8	丸パッキン	1
7	冷却筒受	1
6	筒受	1
5	パッキン	2
4	冷却筒	1
3	筒	1
2	ノズル	1
1	筒受	1

◆操作説明

- 1) 測定気体を付属のビニルホースを通して下部の入り口ノズルから流します。
- 2) 冷却筒にアセトン溶液を7～8分目まで入れます。
※アセトンの代わりにエタノールのご使用も可能です。
- 3) 投入したアセトン溶液にドライアイスの小片を徐々に投入しながら温度計でゆっくり攪拌します。
- 4) ガラス筒を通して中の冷却筒の表面をよく観察しながらなおドライアイスの投入を続けると、やがて冷却筒の表面に露がつきます。
- 5) この時の温度を読み取ります。(T1 とします)
- 6) 露が生じたらドライアイスの投入をやめ、攪拌を続けると温度は再び上昇し露は消えます。完全に露が消えた時の温度を読み取ります。(T2 とします)
- 7) T1 と T2 の平均値をその気体の露点とします。
- 8) 以上の操作を3回実施し、その平均値をとります。
- 9) 露点に分かれれば右の空気線図からその気体の含有水量が求められます。

◆飽和湿り空気線図

(露点温度と含有水量の関係表)

